※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２６

令和５年度　地理歴史科

教科	社会	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	詳解歴史総合　（東京書籍）						
副教材等	詳解歴史総合要点整理ノート（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

近現代史を世界と日本の歴史を関連させながら学習します。定期テストや小テスト、授業プリントや調べ学習、討論や発表など様々な課題に対してバランス良く取り組むようにしてください。

２　学習の到達目標

・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界と日本を相互的な視野から捉え，近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義などを，現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察し、その考察したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
・近現代の歴史の変化により生じた現代の課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度や，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我かんが国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近代化への胎動	・アジア諸帝国と海域世界の繁栄について考える。 ・ヨーロッパの海外進出について考える。	a:　交通と貿易，産業と人口，権利意識と政治参加や国民の義務，学校教育，労働と家族，移民などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 b:　近代化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現する。 c:　近代化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現する。	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト （資料読解・論述問題） ・授業プリント ・調べ学習 ・発表	・討論や発表 ・授業プリント ・調べ学習
	欧米の市民革命と「西洋の衝撃」	・18 世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸，オスマン帝国の政治に影響などに着目して，主題を設定し，ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり，アジアとの関係を相互に関連付けたりするなどして，18 世紀とその前後の世界全体の経済活動の特徴，ヨーロッパ各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係，江戸幕府が崩壊していく関係など学習する。	a：18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸，オスマン帝国における政治，各地域間や清や日本などアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に，18世紀とその前後の世界の経済と社会を理解している。 b：18 世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸，東アジア諸国における経済活動の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：18 世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸とアジアとの歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養う。	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト （資料読解・論述問題） ・授業プリント ・調べ学習 ・発表	・討論や発表 ・授業プリント ・調べ学習

※令和４年度以降入学生用

2学期	帝国主義の時代	・19 世紀から 20 世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義の動き，日本と東アジアの関係，アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の進出などを学習する。	a：19 世紀から 20 世紀初頭にかけてのアジアや日本における生産と流通，アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを理解している。 b：19 世紀から 20 世紀初頭の日本における政治の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：帝国主義や日本のアジア進出に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養う。	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・授業プリント ・調べ学習 ・発表	・討論や発表 ・授業プリント ・調べ学習
	第一次世界大戦と大衆社会	第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成長，ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。大衆の政治参加と女性の地位向上，大正デモクラシーと政党政治，大量消費社会と大衆文化，教育の普及とマスメディアの発達などを学習する。	a：第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成長，ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などをを理解している。 b：第一次世界大戦の性格と惨禍，日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：20 世紀初頭から戦間期にかけての日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養う。	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・授業プリント ・調べ学習 ・発表	・討論や発表 ・授業プリント ・調べ学習

※令和４年度以降入学生用

	経済危機と第二次世界大戦	世界恐慌，ファシズムの伸張，日本の対外政策などを基に，国際協調体制の動揺を理解している。 第二次世界大戦の展開，国際連合と国際経済体制，冷戦の始まりとアジア諸国の動向，戦後改革と日本国憲法の制定，平和条約と日本の独立の回復などを学習する。	a：第二次世界大戦の展開，国際連合と国際経済体制，冷戦の始まりとアジア諸国の動向，戦後改革と日本国憲法の制定，平和条約と日本の独立の回復などを基に，第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 b：経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：世界恐慌やナチス・ドイツ誕生の頃から第二次世界大戦の後の日本の独立回復までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養う	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・授業プリント ・調べ学習 ・発表	・討論や発表 ・授業プリント ・調べ学習

※令和４年度以降入学生用

3学期	冷戦と脱植民地化	脱植民地化とアジア･アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理などを基に，国際政治の変容を理解している。西ヨーロッパや東南アジアの地域連携，計画経済とその波及，日本の高度経済成長などについて学習する。	a：脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理などについて理解している。 b：地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的･多角的に考察し，表現している。 c：1950 年代の冷戦期から 1970 年代の石油危機で日本の高度経済成長期がおわるころの日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養う	･定期テスト ･小テスト	･定期テスト（資料読解･論述問題） ･授業プリント ･調べ学習 ･発表	･討論や発表 ･授業プリント ･調べ学習

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度